

学校企画実施計画書

1 プロジェクト名 学校企画

2 企画テーマ名称

- (1) テーマ ネットワークカメラによるリアル映像の教育活動への利用
(2) サブテーマ インターネットライブ放送と教育利用

3 企画のねらい

本校はインターネットに上りINS64Kの回線速度で、下りは衛星回線を通じて2Mの回線速度で接続されている。PC設置環境としては、平成11年にコンピュータ室に22台のPCが設置され、校内LANも各階に整備されている。情報教育としては、技術・家庭科の情報基礎の時間に生徒達にコンピュータリテラシーの育成が行われ、選択技術や生徒会活動の時間にホームページづくりなどを行っている。また、理科や英語のカリキュラムにインターネットを活用した授業実践も行われている。更に、最近では学校で公開しているWebに保護者・卒業生からのE-mailによる問い合わせや激励の便りも増えてきて、インターネットを通して学校と保護者、地域との連携が深められている。インターネットの活用が教育活動の中に根付きつつある。

一方、社会的状況に目を向けると、インターネットの回線の高速化が順調に進んでおり、より大きなデータ容量を持つ動画データやリアル映像もネットから配信されるようになってきた。また、IT技術の発達に伴い、インターネット=コンピュータネットワークという考えから、コンピュータがなくてもネットワークにリンクできるプリンタ、ビデオといった情報機器の開発にみられるように、インターネットはより広範囲に進化したネットワークへと変貌しつつある。本企画で実践活用するネットワークカメラの利用もネットワークの進化の一環に上げられる。そして、ネットワークカメラの利用としては天気共同観測の実践のように、定点観測によるインターネットライブ中継の利用も現在行われている。

本校では以上のようなネットワークの進化に伴い、リアル映像をより教育活動に生かして、インターネットライブ中継をより広範囲に行い、教育活動への利用を深めたいと考えている。そこで、本校ではインターネットライブ中継を以下のようなやり方で提案する。

(1) 開かれた学校づくり活動への利用 <家庭、地域との連携>

学校では生徒達の社会的成長を願って、様々な教育活動を展開している。集団活動に伴う、協力性、自主性、自発性の伸長を図るのが、集会活動であり、学校行事であり、地域に根ざした活動を展開する。

(2) 放送教育へ活用 <メディアリテラシーの育成とインターネット>

本校には放送部があり、部活動の様子や生徒会活動の様子を取材したりして生徒達の学校生活に活気と潤いを与えている。ビデオなどの映像機器を通して、情報を収集し、選択し、活用し、創造するメディアリテラシー能力の育成を図る。

(3) 学習指導への利用 <ネットワーク学習>

ライブ中継をすることで、夏休みのように長期休業中を利用して長期にわたる動植物の観察、美術、技術・家庭科などの優秀作品の展示と家庭からの鑑賞など、学習指導に際し新しい試みに利用する。

(4) ライブ中継とプライバシー保護のガイドラインの作成

学校の情報をWeb上に公開する場合、一番大切なことは個人のプライバシーの保護を徹底することである。特に、ライブ中継のように生のデータをWeb上で公開する場合、プライバシーの保護に伴うガイドラインを作成し、実行する。

4 実施計画書

(1) 実施内容

学校行事や生徒会活動のライブ中継

学校祭での学年の構成劇、PTA主催による講演会、体育祭など生徒の活動をグローバルサーバーでインターネットライブ中継する。学校と家庭や地域の教育活動の理解と信頼を深めるようにする。

放送部員のメディアリテラシーを育成し、放送教育への利用

生徒によるネットワークカメラによるライブ中継の取材をすることで、メディアリテラシーの育成を図りたいと考えている。ビデオなどの映像機器を通して、情報を収集し、選択し、活用し、創造するメディアリテラシーの能力の育成を図る。

ライブ中継を生かした学習指導への利用

理科、美術、技術・家庭科などの優秀作品の展示と家庭からの鑑賞など、ライブ中継の映像を学習活動に利用し理解を深める。

ライブ中継とプライバシー保護のガイドラインの作成

学校の情報をWeb上に公開する場合、プライバシーの保護に伴う倫理規定のガイドラインを作成し、実行していく必要がある。生徒、教師、保護者が一緒に考え、ガイドラインを作成していく。

(2) スケジュール

7月1日 ネットワークカメラの購入とシステム構築

ライブ中継ができるように、ネットワークカメラとPCを購入し、システムの構築を図る。

プライバシー保護に伴う倫理規定のガイドラインの作成会議

情報部会でガイドラインの参考資料を集め、事例を元に倫理規定について検討する。

7月中旬 ネットワークカメラを活用したライブ中継の試行実験

放送委員による明倫中学校のいいところを探した「明倫中学校ライブニュース」の試行実験を行う。

- 8月 プライバシー保護に伴う倫理規定のガイドライン作成
夏休み中にガイドラインの作成を行う。
- 9月 学校祭（前日祭，体育祭，後日祭）のライブ中継の実施
学校祭における構成劇などの学年発表をライブ中継し，地域に開かれた学校づくりの一貫として行う
- 明倫ライブニュースの実施
放送委員による学校の風物詩などを紹介した「明倫中学校ライブニュース」を行い，ネット上での公開を図る。
- 夏休みの自由研究のライブ中継と報告会
夏休みの植物標本や岩石標本，発明工夫作品等の展示を行い，ライブ中継する。ライブ中継の意見等を E-mail 等で頂くようにする。
- 10月 P T A 講演会のライブ中継
P T A 講演会の様子をライブ中継し，保護者，学校，地域の方々との連携を図る。
- 保護者や地域の方々からのアンケート調査
保護者や地域の方々から E - m a i l を頂き，学習計画に生かしていく。
- 技術・家庭科作品の展示とライブ中継
- 11月 体育・スポーツ研究発表会 <公開>
公開授業でライブ中継を利用した授業を公開予定している。
- 美術作品のライブ中継
写生会の作品などの展示をネット上のライブ中継で行い，保護者の方々がみれるようにする。
- 1月 学校企画報告書作成
- 3月 E スクエア成果研究会参加予定

(3) 実施指導案例

1年1組 理科学習指導案

場所 第1理科室
指導教諭

題材 自由研究

本時の目標

自分で問題を見つけ、自分なりの方法で解決し、結論を得てきた自由研究を発表し、意見交換することで、互いの良さに気付くことができる。

本時の学習過程

過程	学 習 内 容	学 習 の 流 れ	支 援 と 評 価
導 入	・ビデオ視聴	・先輩方の自由研究の優秀作品のビデオを視聴する。	・科学アカデミーに入賞した生徒の発表会の様子のビデオを視聴する。
展 開	・課題把握 ・自由研究 ・意見交換	自由研究作品の発表を通して、互いの作品の良さに気付くことができる。 ・自由研究作品の発表をする。 ・作品や気付いたことを発表する。	・発表のポイントとして、課題、方法、結論に言及するように展示する。 ・発表作品や発表の様子をライブ中継で行い、e-mailの意見も利用するようにする。 ・プライバシー倫理規定に沿うような形でライブ中継を行う。 ・共感的な理解に努める。 ・次への意欲付けや行うために、必ず意見や感想がでるようにはたらきかける。
ま と め	・感想	・自由研究の発表を通して気付いたことを発表する。	・全体を通して思ったことを発表し、自由研究の作品と比較することで、互いの良さに気付かせるようにする。。